


## 昼生地区

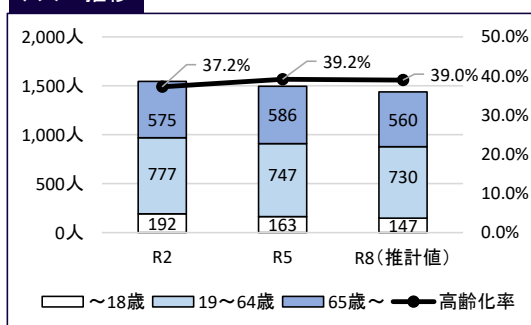
### ◆概要

	【位置図】	まち協名	昼生地区まちづくり協議会		
		所在地	亀山市下庄町3049-2	電話	0595-82-9113
		地区構成	三寺町 中庄町 下庄町		
		地域特性	亀山市南部地区の中の川流域で自然豊かな中に田園が広がり、地盤が強粘土質で美味しいお米が取れます。7自治会(神向屋、下庄、弘法寺、出屋、日焼、中庄町、三寺町)から構成。約1千年前からある雨水の神の江神社、鎌倉末期の作である薬師如来像がある弘法寺、中庄の氏神様である於々奈気神社、3年に一度獅子舞が奉納される石神社があります。		
面積	1,010.0ha	ホームページ	<a href="https://hiruomachi.wordpress.com">https://hiruomachi.wordpress.com</a>		
めざす姿	楽しく笑顔で暮らせるまち				
地域の誇り	鈴鹿山系に囲まれて自然豊かな環境の中、保育園児から高齢者まで地域が一体になって行事等に取り組んでいる				

### ◆人口

	令和2年	令和5年	令和8年 (推計値)	増減	
総人口	1,544人	1,496人	1,437人	-48人	
人口密度	1.53人/ha	1.48人/ha	1.42人/ha	-0.05人/ha	
65歳以上	人口	575人	586人	560人	11人
	比率	37.2%	39.2%	39.0%	1.9%
18歳以下	人口	192人	163人	147人	-29人
	比率	12.4%	10.9%	10.2%	-1.5%
外国籍	人口	73人	105人		32人
	比率	4.7%	7.0%		2.3%

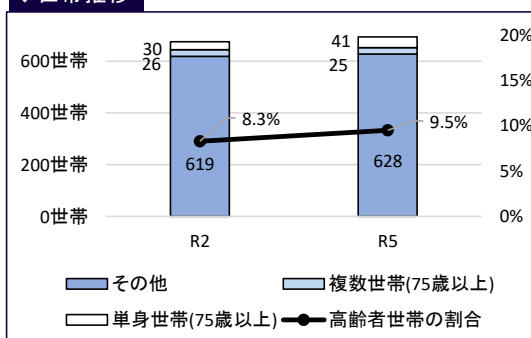
### ◆人口推移



### ◆世帯

	令和2年	令和5年	増減
総世帯	675世帯	694世帯	19世帯
単身世帯 (75歳以上)	30世帯	41世帯	11世帯
複数世帯 (75歳以上)	26世帯	25世帯	-1世帯
高齢者世帯割合	8.3%	9.5%	1.2%

### ◆世帯推移



### ◆介護保険認定者

	令和2年	令和5年	増減
要支援1.2	31人	36人	5人
要介護1~5	81人	83人	2人
合計	112人	119人	7人

### ◆地域組織

	令和2年	令和5年	増減
自治会	7	7	0
老人クラブ	0	0	0
子ども会	4	4	0

◆福祉・医療・教育等に関する社会資源

民生委員・児童委員	3
主任児童委員	1
福祉委員	7
介護保険施設・事業所	0
サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム	0
障がい福祉施設・事業所	0
児童福祉施設・事業所	0
病院・一般診療所	0
歯科診療所	0
保育所	1
幼稚園	1
認定こども園	0
放課後児童クラブ	1
放課後子ども教室	1
子育て支援センター	0
学校(小・中・高)	1
乗り合いタクシー停留所	24

◆担当地域包括支援センター

亀山第1地域包括支援センター ぼたん
--------------------

◆サロン活動

	令和2年	令和5年	増減
ふれあいいきいきサロン	3	3	0
子育てサロン	0	0	0
コミュニティサロン	1	1	0

◆福祉委員会活動

◆構成員 民生委員・児童委員 福祉委員

◆活動内容

【交流活動】

押し花教室やふれあい歌の広場、DVD鑑賞会などの行事を行い、地域の方々の交流の場となっています。また紙飛行機を作り、風に吹かれない体育館内で飛ばして遊ぶことで、三世代交流を行っています。

【訪問活動】

75歳以上一人暮らし高齢者に対し、屋生小6年生と一緒に訪問活動を行っています。



ふれあい大運動会



屋生夏まつり

◆ちょこボラ活動

○屋生フレンドサービス

対象者：75歳以上の高齢者など

活動内容：草刈り、庭木の選定、ごみ出しなど

高齢者がいつまでもいきいきと生活できる屋生を持続し、助け合いの循環、継承ができるよう取り組んでいます。

◆まちづくり協議会の恒例事業

- ・屋生地区ふれあい大運動会
- ・屋生夏まつり
- ・屋生地区敬老会
- ・屋生地区文化祭・敬老会
- ・高齢者スポーツグラウンドゴルフ大会
- ・児童ふれあいゴルフ大会

◆生活支援コーディネーターからのコメント

屋生地区の人口は1,496人で、そのうち39.2%にあたる586人が65歳以上です。地域内694世帯のうち、9.6%にあたる66世帯が75歳以上のみで構成されています。また、地域内人口の7.0%にあたる105人が外国籍です。

地域の特色として、三世代交流の児童ふれあいゴルフ大会や屋生夏まつりなど子どもから高齢者まで一体となって行事に取り組むことが多く、住民同士のつながりが強い地域と言えます。また、地域の将来の在り方について考えるため、令和4年度に発足した「屋生の未来を考える会」がワークショップを開催し、幅広い世代の住民が参加しています。平成30年8月から活動しているちょこボラ団体「屋生フレンドサービス」は、発足6年目を迎え、住民のちょっとした困り事(草刈り、ゴミ出しなど)に対応できる体制が整えられています。依頼件数は年々増加傾向にあり、地域の支え合い活動として多くの住民に浸透していることが伺えます。今後も三世代交流やちょこボラの活動などを継続し、子どもから高齢者まで世代を超えて支え合う地域としてさらに発展していくことが期待されます。